

探訪 新ライフスタイル

三重県のほぼ中央の山間に位置する人口約1万5千人の多気町。年間1000万人の参拝客が訪れる伊勢神宮から車で約25分、また熊野古道にも近い交通の要所に2021年7月オープンしたのが東京ドーム24個分という日本最大級のリゾート型複合商業施設「VISION(ヴァイゾン)」。

ライフスタイル

食文化体験リゾート「VISION」



VISIONでは伊勢醤油の文化を体験できる店舗も

和の伝統とスペインの風

地域資源である食に特化し、施設は宿泊・温浴施設、飲食店、生鮮マルシェ、農

園といったテーマごとに9のエリアで構成される。VISIONの食文化体験カーの「出店」。

「出店」のなかで、特筆すべき試みは、2つ。1つ目は「食品メーカーや生産者の出店」に

対し、「食文化を継承する場をつくるため、力を入れている」と、VISIONの社長は語る。2つ目は「サンセバスチャンからの出店」である。世界から美食家たちが訪れる人口18万人の街「サンセバスチャン」は、バスク地方の海と山の幸を集めたメニユーを提

VISIONの構想と関係者の熱意を感じたサンセバスチャン市長は多気町長と

「VISION」の名にふさわしい美しい所作や気配りといったホスピタリティ技術を向上していけるかが鍵となる。ゲストが商品やサービスを購入して満足を感じ、情緒価値は、施設のブランド価値に直結する。村を一つの事業体として見立て、全体価値を最大限に高め、全体価値を最大限に高めていく運営力づくりは課題であり、伸び代でもある。

成熟化社会では可処分所得の奪い合いから、可処分時間の奪い合いへと変わってきた。常に体験価値を磨き続け、訪れたゲストが「また来てみたい」というファン化や、「応援したい」というサポーター化へと昇華していく顧客醸成に期待したい。

(商)創造研究所代表 松本大地